

こんにちは

日本共産党

星野たかしです

148

2011年12月19日

星野たかし事務所

港区白金3の4の4

電話・FAX

(3442)3173

G M shirokane.hoshino.takash@gmail.com

## 日本共産党第6次震災ボランティア活動報告

日本共産党港地区委員会は、12月8日から11日まで石巻市の「日本共産党 震災・救援センター」を拠点にして、第6次ボランティア活動を行いました。

(日本共産党港地区議団ホームページ・いのくま正一さんのブログより)

第6次ボランティアに行きました。港から6名です。かなり冷え込んでいました。今回は布団やセーター、コートなどの冬物物資がたくさん集まりました。多くの港区民の方々が提供してくれました。

港区から持ちこんだ布団類です。飛ぶようになくなりました。【写真左】



援センターで炊き出し道具を借りて、向陽町仮設住宅へ移動。カレーライス250食を作りました。温かいものを食べると、気持ちもホッとします。体も温まります。全部出ました。嬉しい限りです。【写真左】



12月8日の夜集合して、まずは、救援物資をトラックに積み込みます。これまでに最大規模の物資です。冬物ですから容量がすごくあります。3トントラックを借りてなんとかすべて積み込みました。【写真左】

9日朝4時半に石巻到着。車中で仮眠をとり、朝食。その後、7時過ぎには救



パソコンを引き渡しました。実は、以前から要望が寄せられていました。仮設に暮らす方で、自治会の役員さんがパソコンが流されて手書きの連絡ニュースをつくり、コンビニでコピーして配っているという情報をいただき、パソコンを探

裏面につづきます

なんでも相談会 1月24日(火)午後6時30分から わたりホール (3449)1202 星野へご連絡下さい



していました。中古ですが、2台ノートパソコンが見つかり届けました。【写真左】



後で、手紙もいただきました。大変な喜びようで、こちらでも感激です。

仮設住宅の風除工事。冷たい風や雪が玄関に入らないような設備、の工事がようやく始まったところです。【写真左】



すべての仮設住宅の工事が間に合うのでしょうか。何故最初から設置しなかつ

たのか。怒りもわいてきま

す。  
実は、夏に県が約束していた、玄関の網戸は、すべての仮設には設置されませんでした。向陽の仮設は、来年に回されたそうです。結局、宮城県が仮設住宅建設を大手ゼネコンに丸投げしたのが大きな原因です。

大川小学校での12月1日の月命日の法要です。

【写真左】



多くの児童が犠牲になりました。今も行方不明のお子さんの母親が、娘さんに手紙を出していました。

(00ちゃんは寒がりだから、暖かくしているから...) というような手紙でした。言葉もでません。

南三陸では、瓦礫の山・山・山です。S.Lも横倒しのまま。女川でも同じでした。いったい何時、復旧、

復興できるのででしょうか。兆しもないという状況です。

【写真左】



被災から9ヶ月が過ぎました。これからも長い長い救援活動が必要だと、あらためて痛感した第6次ボランティアでした。



